

**首都高速道路株式会社
第16期（令和3年3月期）
決算説明会**

2021年6月11日

連結決算の概要

(単位：億円)

	R3/3期	R2/3期	増減
営業収益	3,575	5,346	△1,771
営業費用	3,606	5,327	△1,721
営業利益	△30	18	△49
経常利益	△28	19	△48
税引前利益	△36	18	△55
法人税等	8	18	△10
親会社株主に帰属する 当期純利益	△45	△0	△44

- ▶ 弊社グループの連結決算では、営業収益は前期比33.1%減、営業費用は同32.3%減。主な要因は、前期に横浜環状北西線、横浜環状北線(馬場出入口)、小松川JCT、渋谷入口(下り)等(1,819億円)の完成、引渡があったことによる減少。
- ▶ 親会社株主に帰属する当期純利益は△45億円。新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う外出自粛要請等の影響による料金収入の減少等によるもの。

(注) 端数処理の関係で計が合わないことがあります。

高速道路事業の損益状況（連結）

（単位：億円）

	R3/3期	R2/3期	増減
営業収益	3,471	4,983	△1,511
内：料金収入	2,358	2,635	△277
内：道路資産完成高	1,111	2,345	△1,234
営業費用	3,512	4,977	△1,465
内：道路資産賃借料	1,597	1,901	△304
内：道路資産完成原価	1,148	2,345	△1,197
内：管理費用等	766	729	36
営業利益	△40	5	△46

- 料金収入は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う外出自粛要請等の影響により前期比10.5%減。
なお、交通量は対前期比10.5%減、89.6万台/日。
- 道路資産完成高は、建設事業、改築事業及び修繕事業等の引渡しを実施し、前期比52.6%減。
なお、道路資産完成高と道路資産完成原価の差は安全対策・サービス高度化積立金活用分16億円に加え、安全性確保のために早期に高速道路機構に債務の引渡しを行わず実施した修繕事業及び特定更新等工事19億円によるもの。
- 道路資産賃借料は高速道路機構との協定に定める道路資産賃借料の減少、及び変動貸付料制度の適用があったことによる減少により前期比16.0%減。
- 上記の結果、高速道路事業の営業利益は△40億円。

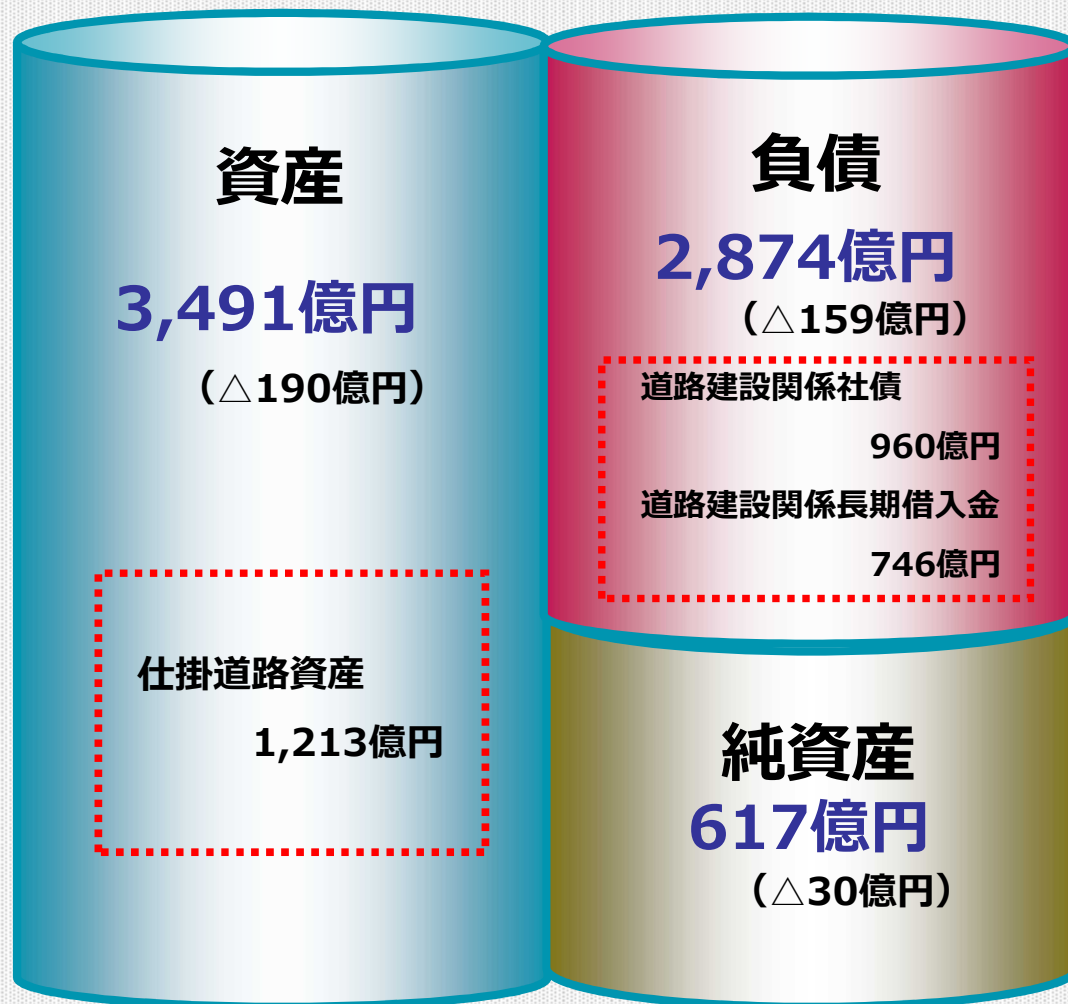
関連事業の損益状況（連結）

（単位：億円）

	R3/3期	R2/3期	増減
営業収益	110	369	△259
駐車場事業	30	31	△1
受託事業	35	289	△254
その他の事業	44	48	△3
営業費用	100	356	△255
内：受託事業	34	284	△250
営業利益	9	13	△3

- 駐車場事業は、主に都市計画駐車場（5箇所）と高架下等駐車場（65箇所）を運営しており、営業収益は前期比3.5%減とほぼ前期並み。
- 受託事業は、前期に横浜環状北西線関連の受託協定がしゅん功したこと等により、営業収益は前期比87.8%減、営業費用は同87.9%減。
- その他の事業は、休憩所施設及び高架下賃貸施設の運営・管理等を行っており、営業収益は前期比8.2%減。
- 関連事業全体の営業利益は前期比25.7%減の9億円。

連結財政状態



() 内は令和2年3月末からの増減

(注) 億単位未満切り捨てのため、図表の貸借の数値が一致していません。

- 資産の部は、仕掛道路資産について、建設事業、特定更新等工事などの進捗による増、東品川栈橋・鮫洲埋立部など工事完成に伴う高速道路機構への資産引渡しによる減などにより、資産残高は3,491億円。
- 負債の部は、資金調達による増、高速道路機構への債務引渡しによる減により、負債残高は2,874億円。

単体決算の概要

(単位：億円)

	R3/3期	R2/3期	増減
営業収益	3,531	5,296	△1,764
高速道路事業	3,471	4,983	△1,511
関連事業	59	313	△253
営業費用	3,590	5,305	△1,714
高速道路事業	3,535	4,995	△1,460
関連事業	55	309	△253
営業利益	△59	△8	△50
高速道路事業	△63	△12	△51
関連事業	4	3	0
経常利益	△51	△3	△47
税引前当期純利益	△51	△4	△47
法人税等	0	8	△8
当期純利益	△51	△12	△39

第17期（令和4年3月期） 連結業績見通し

第17期（令和4年3月期）の連結業績見通し

（単位：億円）

	R4/3期	R3/3期	増減
営業収益	4,970	3,575	1,395
料金収入	2,453	2,358	94
道路資産完成高	2,347	1,111	1,235
関連事業	169	110	59
営業費用	4,995	3,606	1,389
営業利益	△24	△30	6
経常利益	△26	△28	2
税引前利益	△26	△36	10
法人税等	2	8	△5
親会社株主に帰属する 当期純利益	△29	△45	15

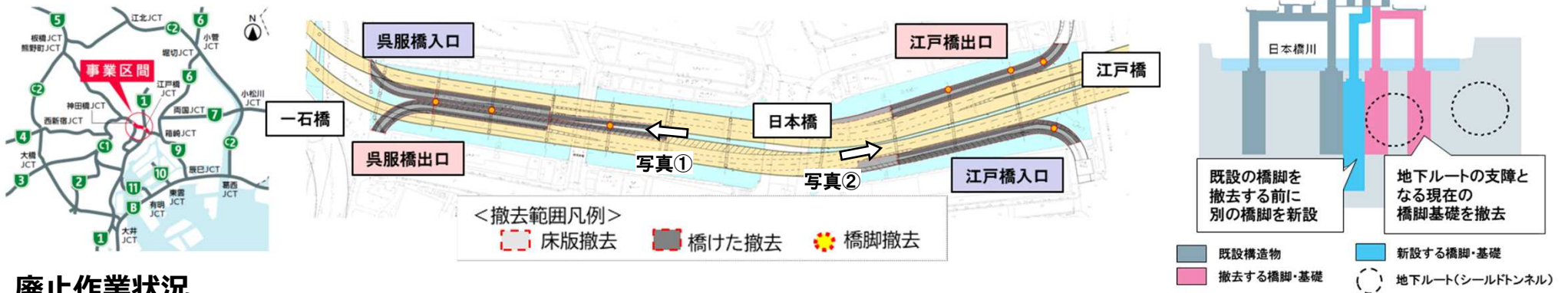
（注1）見通しについては、様々な要因により変化するものであり、将来の業績等を保証するものではありません。

（注2）営業利益には、高速道路事業の利益剰余金を活用した、安全対策やサービス高度化に資する事業に伴う損失を含みます。

【参考】令和3年度の主な施策について

令和3年度の主な施策 ①日本橋区間地下化

- 日本橋区間地下化事業については、2020年11月より上水道の移設工事に着手（企業者工事）
- その後、トンネル工事に支障となる江戸橋・呉服橋出入口の撤去工事について、2021年4月に工事説明会を開催
- **呉服橋・江戸橋出入口は、2021年5月10日（月）午前0時に廃止**
- 約3年間の出入口撤去工事の完了後、地下トンネル工事等の本体工事に着手予定



廃止作業状況



現況



出入口撤去後のイメージ

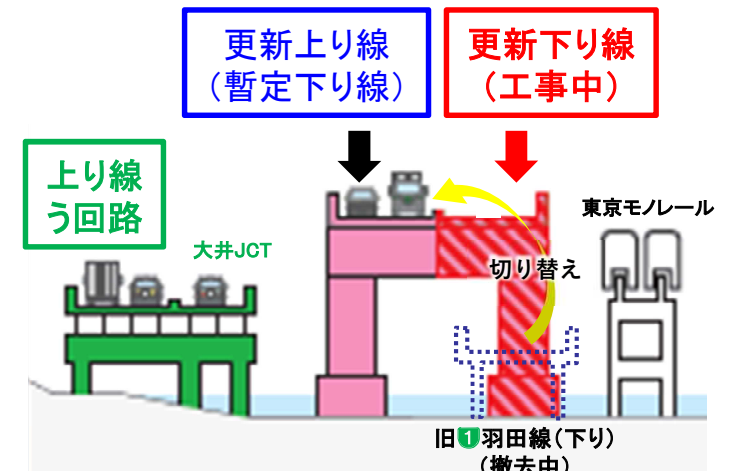
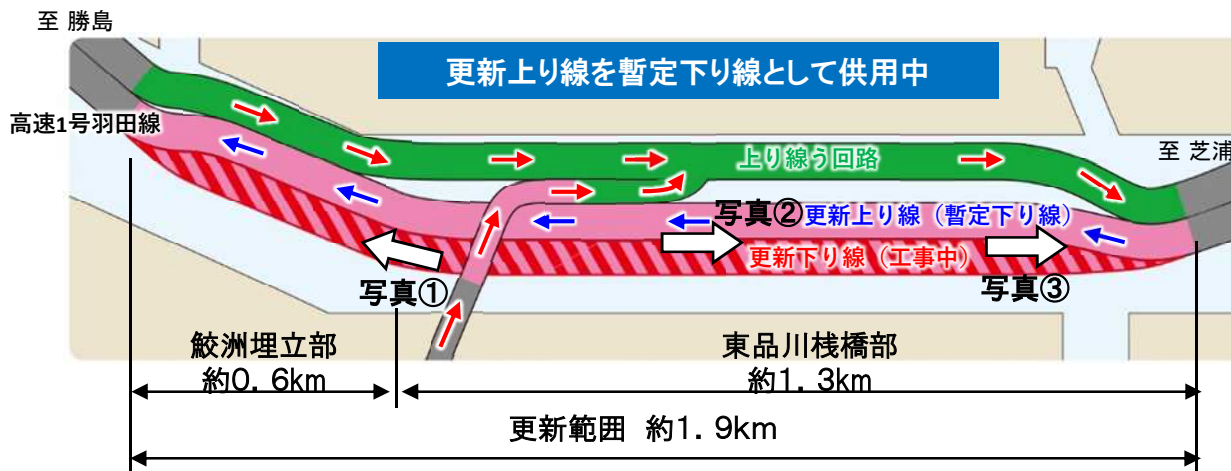


令和3年度の主な施策 ②東品川栈橋・鮫洲埋立部更新

➤ 現在、更新下り線工事を実施中

東品川栈橋部 : 旧①羽田線撤去工、橋脚基礎工等を実施中

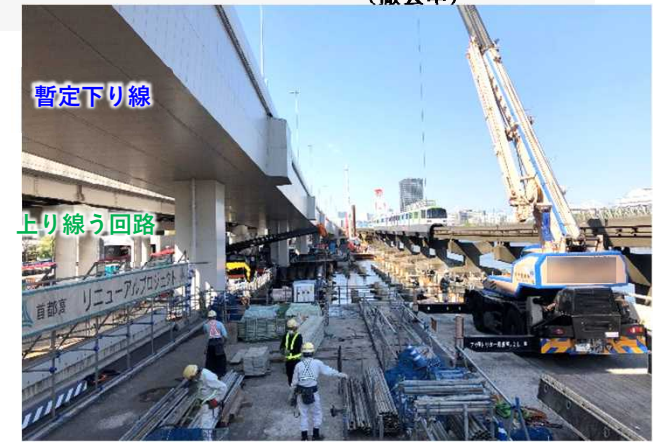
鮫洲埋立部 : 地盤改良工等を実施中



写真① 鮫洲埋立部 地盤改良工



写真② 東品川栈橋部 橋脚基礎工



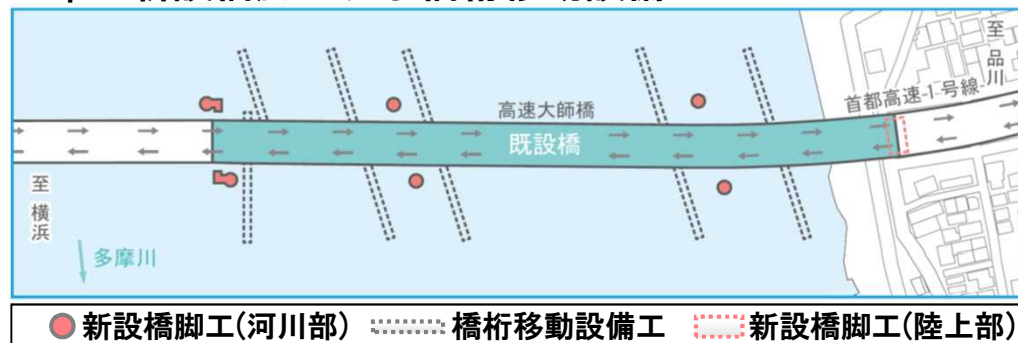
写真③ 既設栈橋下部 撤去工

令和3年度の主な施策 ③ 高速大師橋更新

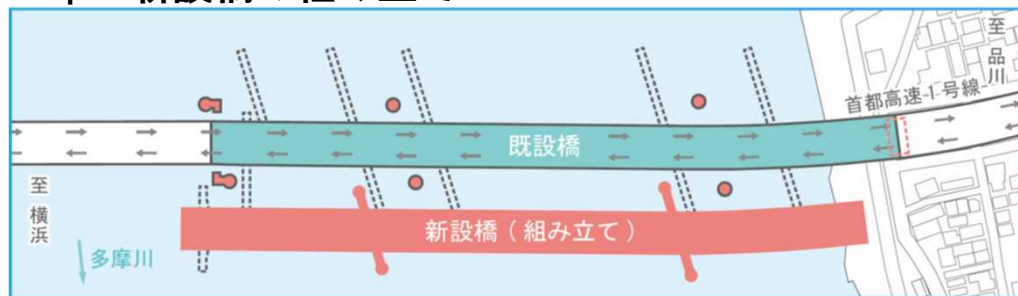
- 現在、新設橋脚工及び橋桁移動設備工を実施中
- 令和3年度は引き続き、河川内での橋桁移動設備工を実施予定



Step1: 新設橋脚工及び橋桁移動設備工



Step2: 新設橋の組み立て



新設橋の架設・橋桁移動※、既設橋解体・撤去を実施予定

※実施時期は関係機関協議中



施工状況

お問い合わせ先

首都高速道路株式会社 財務部 決算課 TEL : 03-3539-9297 (直通)
〈URL〉 <http://www.shutoko.co.jp/>